

# 政策ビジョン研究センター設立

## 知の統合を課題解決に活用



研と  
なを長  
様言一  
多提セ  
る策タ  
す政セ  
有に田  
の基森  
学の森  
本究語

までは教員が個人的に審議

会に参加、政策立案に関わってきたが、これからは同センターが、本学の知を統合しながら政策形成の知的リソースを提供し、政策の選択肢を提示する。

小宮山総長は、日本が高齢化社会に代表されるような課題先進国から課題解決先進国へと変わっていくために、大学の持つ可能性を強調。本学の五千人を超える教員達の知を必要に応じ

本郷キャンパス鉄門記念講堂において十四日、「東

京大学政策ビジョン研究センター設立記念フォーラム」が開催された。小宮山宏本学総長と森田朗センター長による講演に続き、同センターに属する研究ユ

ニットから、課題に向けての取り組みが説明された。

社会で発生する諸問題の解決のために、最先端の研究成果を活用した政策の提言が求められている。これ

て結合させる体制に期待を寄せた。森田センター長は、課題解決に取り組む研究ユニットを取りまとめ、ネットワークのハブとしての同センターの役割を説明した。

センターは全学的な参加を実現するため、総長室直轄の組織として設置されている。具体的な政策に関する研究は、研究者間の連携による「研究ユニット」によって行い、政策提言も同ユニットが行う。また特定の政党などに偏らないために、提言は複数の可能性を客観的に示し、政策決定に役立つ情報の提供を原則とする。